

# 災害に強いまちを目指して



徒歩で登庁する桂川市長

9月1日「防災の日」、亀岡市では、今年4月に発生した熊本地震を教訓に、大規模地震の発生を想定した初動対応訓練を実施しました。

実際の早期復旧体制の確立のため「災害支援協定」を日本下水道事業団と締結しました。この協定により、同事業団が



シンポジウムで防災・減災の知識を学ぶ

防災・減災の取り組みから学ぶ、災害に強い人づくり」を、ガレリアかめおかで開催しました。シンポジウムでは、土砂災害から身を守るための講演や消防団



訓練を行う災害対策本部

午前6時30分に訓練メーブルを受け取った桂川市長や市職員は、交通の混乱を想定し徒歩や自転車、バイクなどで登庁訓練を開始。その後、災害対策本部設置・運用訓練を実施し、情報収集、指令伝達など、非常時対応のシミュレーションを行いました。

また、同日、地震や集中豪雨などで下水道処理施設が被災した蓄積するノウハウを活用した専門技術者の投入や応急・復旧工事などを行い、緊急対応を図ることができま

さらに9月3日には、「地域防災力向上シンポジウム」を京都2016で実施。災害に対する地域の防災力の「自助・共助・公助」それぞれの機能について考える機会となりました。



日本下水道事業団と「災害支援協定」を締結

## ど長寿おめでとーございます

### ～市内各地で敬老行事～

敬老月間の9月、長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者の皆さんに感謝し、これからも元気に過ごしていただくこと、19日の「敬老の日」を中心に市内各町で敬老会が開催されました。



▲心を込めて歌う亀岡高等学校合唱部の皆さん

9月11日、篠町自治会が主催される「敬老祝賀のつどい」が安詳小学校で行われ、約250人の高齢者が参加されました。

亀岡高等学校合唱部のメンバーがお祝いに駆け付け、「ふるさと」や「川の流れるように」などが披露されると、参加者も一緒に歌い、会場は終始

## 千代川小学校、全国大会で快挙!!

### ～交通安全子供自転車全国大会～



▲競技(遅のり走行)に挑む千代川小学校の選手

8月3日、東京ビッグサイトで開催された「第51回交通安全子供自転車全国大会」に京都府代表として出場された千代川小学校6年生の馬淵珠平くん、原野航くん、安富遥音さん、並河華凜さんが、見事、団体の部で第3位、個人の部で馬淵くんが第2位に輝きました。

本大会は、児童の皆さんに自転車競技を通じて安全走行に対する知識と技能を身に付けるとともに、交通安全に対する興味と関心を高め、習慣化を図ることで交通事故を防止することを目的としています。



▲桂川市長も快挙をたたえました

同日30日、選手の皆さん4人は、本大会の結果を桂川市長に報告。「今後も、自転車に乗る際は安全に注意し、今回の経験を生活に生かしていきたいです」と、交通安全の大切さと入賞への喜びを話されました。

## 第三百七十六回 亀岡ちよと昔の道具箱 ⑥

文化財めぐり

### 鯖寿司の押し型

今年の豊作を祝う秋祭りの季節です。祭りの日のご馳走といえは、鯖寿司という家も多いのではないのでしょうか。江戸時代の日記にも、亀岡祭りの日のご馳走の一つとして、「鯖すし」が記されています。当時の鯖寿司が、酢を使うものであったか、熟成させるナレスシであったかは定かではありませんが、現在、亀岡でよく知られている鯖寿司は、酢を使ったもので、塩鯖を3枚におろして、押し寿司にします。



▲押し寿司を作るための木型

写真の道具は、押し寿司を作るための木型です。型は三つのパーツに分かれます。まず、底板に枠をのせて、その中に酢に漬けた塩鯖の身を置き、その上からすし飯を詰めます。その上、上の板をのせて、丁寧にぎゅっと押しします。型ごとひっくり返して、底板と枠をそとと抜くと、鯖寿司の型が完成です。

(文化資料館)